

短期予報解説資料 2025年12月28日15時40分発表

气象序

1. 実況上の着目点

- ① オホーツク海に低気圧があつて、ゆっくり南東進。また、西日本に高気圧があつて、南東へ移動。西日本の日本海側は気圧の谷となっており、周辺では弱い降水を解析。また、北日本では気圧の傾きが大きくなつており、強い風が吹き波が高くなつてゐる所がある。

② 南西諸島付近は気圧の谷となっており、海上を中心にして強い雨や激しい雨を解析。また気圧の谷の周辺では気圧の傾きが大きくなつており、波が高くなつてゐる所がある。

③ 東海道沖～伊豆諸島付近に地上のシアーラインがのびている。伊豆諸島付近の海上では雷を検知。

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 1項①の気圧の谷は29日にかけて続く。また、29日朝までに日本海で地上のシーラインが顕在化し東進、29～30日に北日本を通過する。気圧の谷やシーラインに向かう下層暖湿気と上空寒気の影響で大気の状態が非常に不安定となる所がある。西日本では30日にかけて、北～東日本では29～30日は、落雷や突風、降ひょう、急な強い雨に注意。局地的には竜巻などの激しい突風に注意。

② 1項②の気圧の谷は29日にかけて続き、500hPa 5700m付近の正渦度移流に対応して30日朝までに先島諸島付近で低気圧が発生し東北東進する。気圧の谷や低気圧に向かう下層暖湿気の影響で大気の状態が不安定となり、雷を伴った激しい雨が降り大雨となる所がある。南西諸島では30日にかけて、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒し、落雷や突風に注意。

③ 1項③のシーラインは、28日夜にかけて西進、29日は東進し伊豆諸島付近を通過する。シーライン周辺では大気の状態が非常に不安定となる所がある。東日本太平洋側では29日にかけて、落雷や突風、降ひょう、急な強い雨に注意。なお、このシーラインは29日夜までに不明瞭になる。

④ 1項①の高気圧と低気圧との間、および2項①のシーライン付近では、雪を伴った強い風が吹き波が高くなる所がある。北日本では30日にかけて、東日本では29～30日は、西日本では30日は、強風や風雪、高波に注意。また、南西諸島では、2項②の気圧の谷や低気圧の影響で波が高くしける所がある。南西諸島では30日にかけて、高波に注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場にはGSMを基本、量予想や降水分布にはMSMやLFMも参考。

4. 防災関連事項 [量的予報等]

- ② 降雪量(18時からの24時間)：多い所(注意報級以上)はない。
 - ③ 波浪(明日まで)：沖縄4、北海道・北陸3m。
 - ④ 高潮(明日まで)：東日本では、注意報基準を超過する所がある。

5. 全般気象情報発表の有無 発表の予定はない。



主要じょう乱解説図

量的な予報については、今後の状況により変化する場合がありますので、注意報・警報や全般気象情報等に記述する数値を利用願います。